

平成28年度 議会事務事業評価結果表（平成27年度決算分）

委員会名	総務教育常任委員会	委員長名	森田 俊和
事業名	少年補導・相談事業		

評価区分	現行どおり
審査の経過	<p>本事業の意義や必要性については全ての委員が認めており、青少年の健全育成、非行防止に寄与する地道な活動を評価する意見があった。</p> <p>しかしながら、地域により少年補導委員の活動に温度差があるとの指摘もあり、少年補導委員が相互に啓発できる仕組みやモチベーションの向上に繋がる施策が必要との意見があった。</p> <p>また、地域総がかりでの見守りが求められている中、本市においても見守りカメラの設置などが進められており、今後2～3年を目途に改善すべき点について、複数の委員から提案があった。</p> <p>その内容は「教育委員会だけではなく市長部局とも連携し、少年補導委員制度にこだわらない手法の検討を行い、警察など関係機関との連携強化や少年補導委員、保護者、地域ボランティアなどが一体となった新たな見守りネットワークの構築が必要」「校区ユニット内の町内会、老人クラブ、PTA、少年団等がしっかりと連携するとともに、地域見守り防犯カメラやICTを活用するなど、総合的な取り組みにより、地域全体で見守っていく制度への転換が望ましい」というものであった。</p> <p>このように改善すべき点はあるものの、現状の予算規模で事業を実施すべきとする意見が多くあった。</p> <p>委員会は審査の結果、全会一致で「現行どおり」の評価と決定した。</p>